

千本せんぼん焰魔えんま堂だうは蓮台寺れんだいじの南にあり、引接寺いんせうじと号す、宗旨は真言なり。本尊は閻魔大王えんまだいわうにして、法橋ほつけう定朝ぢやうてうの作。当寺の開基ちやうがくりつしは定覚律師ぢやうがくりつしと、鐘の銘にあり。大念仏は文永年中に、如輪上人にょりんしやうにんはじめ給ふ。此寺の桜に普賢像ふげんざうといふあり、弥生の頃花盛りをまちて狂言をはじむるなり。一説に、むかし笙の窟にちさうしやうにんの日藏上人にちさうしやうにん、冥土にいたり給へば、帝いまして上人しやうにんに向ひて宣ふやうは、我婆婆の業因深うして今浅ましきくるしみを受たり、汝婆婆に歸りて我為に千本の卒塔婆を供養すべしと、一首の歌を詠じ給ふ。

いふならく奈落の底に入ぬれば刹利も首陀もかはらざりけり

日藏にちざう感涙袖にあまり、急帰ると思へば夢なり。此旨を奏聞して、舟岡山ふなをかに千本の卒塔婆を建、当寺を造立し、いかめしき御とぶらひ供養しけるとなり。